



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日
東・名上場会社名 コマニー株式会社
コード番号 7945

上場取引所

URL https://www.comany.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役
社長執行役員 (氏名) 塚本 健太問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員
経営管理統括本部長 (氏名) 篠崎 幸造 (TEL) 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,954	△15.9	△564	—	△373	—	△317	—
2020年3月期第3四半期	21,342	△6.1	△273	—	△335	—	△609	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △219百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △678百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△35.63	—
2020年3月期第3四半期	△68.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,807	21,906	61.2
2020年3月期	32,533	22,482	69.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 21,906百万円 2020年3月期 22,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	26.00	—	25.00	51.00
2021年3月期	—	15.00	—		
2021年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	△12.3	800	△53.4	850	△45.8	500	△29.7	56.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	9,924,075株	2020年3月期	9,924,075株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,016,239株	2020年3月期	1,021,364株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,905,383株	2020年3月期3Q	8,901,007株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式を含めております(2021年3月期3Q 228,803株、2020年3月期 233,928株)。
 また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期3Q 231,255株、2020年3月期3Q 235,736株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済環境は依然として厳しい状況で推移しました。感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって持ち直しの動きが期待されましたが、国内外における感染再拡大の動きもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における営業活動といたしましては、お客様面談の量と質の向上を図りながら、新型コロナウイルス感染症の影響による働き方や生活スタイルの変化に応じたお客様ニーズに対し、個室空間で集中して働くことのできる「リモート・キャビン」の発売や抗ウイルス・抗菌対策商品「Health Bright Evolution(ヘルス ブライト エボリューション)」の展開など、新たな商品やサービスの提案も含め活動してきました。4月に発出された緊急事態宣言などの影響から、主力となるオフィス市場において投資を控え今後の動向の様子を見ずる状況もあり、売上高は179億54百万円(前年同四半期比15.9%減)となりましたが、営業活動の効果も出始め、四半期毎の受注高は前年並みに回復してきており、受注残高においても前年同四半期比2.3%の伸張となりました。

損益面につきましては、売上高減少の影響などにより、売上総利益は66億46百万円(前年同四半期比16.2%減)、売上総利益率は37.0%(前年同四半期比0.2ポイント減)となりました。

販売費及び一般管理費は、業務プロセスの見直しによる固定費の削減に取り組み、72億11百万円(前年同四半期比12.1%減)となりました。

その結果、営業損失は5億64百万円(前年同四半期は営業損失2億73百万円)、経常損失は営業外収益として新型コロナウイルス感染症による雇用調整助成金などを計上したことにより3億73百万円(前年同四半期は経常損失3億35百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億17百万円(前年同四半期は中国子会社の譲渡に伴う特別損失を計上したことなどにより親会社株主に帰属する四半期純損失6億9百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間の市場別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年12月31日)						
市場	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同四半期比 (%)	金額	前年同四半期比 (%)	金額	前年同四半期比 (%)
オフィス	8,359	79.0	9,569	92.9	4,107	107.8
工場	4,389	88.1	4,924	87.6	2,472	73.8
医療・福祉	2,264	101.9	3,315	101.0	4,478	119.5
学校	1,256	105.9	1,963	108.7	1,634	118.6
その他	1,684	71.2	2,089	70.1	1,663	94.8
合計	17,954	84.1	21,862	91.1	14,357	102.3

(注) 上記表中「その他」の前年同四半期比の算定においては、前期まで地域別セグメント開示を行っていた中国の実績を含めて計算しております。

なお、当社グループは従来、「日本」「中国」の2区分を報告のセグメントとしておりましたが、前連結会計年度に連結子会社であった格満林(南京)新型建材科技有限公司の全出資持分を譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「パーティションの製造及び販売事業」の単一セグメントに変更し、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は358億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億74百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は241億21百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億75百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が長期事業資金の借入45億円などにより62億38百万円、商品及び製品が7億85百万円増加し、受取手形及び売掛金が31億77百万円、未収入金の減少などにより流動資産その他が5億80百万円減少したことによります。

固定資産は116億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億1百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は60億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億54百万円の増加となりました。これは主に、前受金の増加などにより流動負債その他が6億60百万円増加し、賞与引当金が3億87百万円減少したことによります。流動比率は399.4%となり、前連結会計年度末と比較して36.3ポイント改善しました。継続して高い安定性を維持しております。

固定負債は78億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億96百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が35億円増加したことによります。

(純資産)

純資産合計は219億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億76百万円の減少となりました。これは主に、四半期純損失と配当金の支払いにより利益剰余金が6億82百万円減少したことによります。

以上の結果、自己資本比率は借入金の増加などにより61.2%となり、前連結会計年度末と比較して7.9ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予測につきましては、2020年8月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,236	14,475
受取手形及び売掛金	9,709	6,531
商品及び製品	819	1,605
仕掛品	138	207
原材料及び貯蔵品	485	633
その他	1,270	690
貸倒引当金	△16	△22
流動資産合計	20,645	24,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,381	2,266
機械装置及び運搬具（純額）	1,623	1,566
土地	3,359	3,359
建設仮勘定	86	152
その他（純額）	154	166
有形固定資産合計	7,604	7,511
無形固定資産		
その他	415	529
無形固定資産合計	415	529
投資その他の資産		
投資有価証券	1,124	1,244
長期貸付金	22	21
繰延税金資産	1,767	1,836
その他	986	576
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	3,868	3,645
固定資産合計	11,888	11,686
資産合計	32,533	35,807

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,877	1,867
短期借入金	900	1,000
未払法人税等	61	49
賞与引当金	801	414
役員賞与引当金	20	24
その他	2,024	2,684
流動負債合計	5,685	6,039
固定負債		
長期借入金	—	3,500
リース債務	240	209
再評価に係る繰延税金負債	331	331
退職給付に係る負債	3,351	3,402
役員株式給付引当金	90	82
その他	351	336
固定負債合計	4,365	7,861
負債合計	10,050	13,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121	7,121
資本剰余金	7,607	7,607
利益剰余金	8,571	7,888
自己株式	△1,135	△1,127
株主資本合計	22,163	21,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△93	△9
土地再評価差額金	481	481
為替換算調整勘定	8	0
退職給付に係る調整累計額	△78	△56
その他の包括利益累計額合計	318	416
純資産合計	22,482	21,906
負債純資産合計	32,533	35,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	21,342	17,954
売上原価	13,408	11,307
売上総利益	7,934	6,646
販売費及び一般管理費	8,207	7,211
営業損失(△)	△273	△564
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	13	13
為替差益	—	25
受取賃貸料	10	5
保険解約返戻金	—	37
雇用調整助成金	—	75
売電収入	15	24
その他	46	45
営業外収益合計	91	228
営業外費用		
支払利息	10	5
持分法による投資損失	0	0
為替差損	106	—
売上割引	12	13
減価償却費	6	10
その他	16	6
営業外費用合計	153	36
経常損失(△)	△335	△373
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	28	7
事業譲渡損失引当金繰入額	1,178	—
特別損失合計	1,207	7
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,541	△380
法人税等	△932	△62
四半期純損失(△)	△609	△317
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△609	△317

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△609	△317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	84
為替換算調整勘定	△51	△8
退職給付に係る調整額	26	21
その他の包括利益合計	△68	97
四半期包括利益	△678	△219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△678	△219
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(配送費及び倉庫料の会計処理)

従来、本社の物流センターから現場への配送費及び各拠点のハブセンターに係る倉庫料は、販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)の適用準備を開始したことを契機に、売上と原価との対応関係を明確にし、原価範囲の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より売上原価に含めております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間については、遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上原価は6億20百万円増加し、販売費及び一般管理費が同額減少しております。